

クレーンから鉄骨落下

1人死亡、1人けが

- ◇ 吊り下には、絶対に入らないこと…「逃げ場」の確保◇
- ◇ 吊り具、ワイヤー、工具の点検を確実に行いましょう◇
- ◇ 作業前、事前打ち合わせを、必ず行いましょう◇

2018/5/14(月) 18:11

14日午後3時半すぎ、千葉県の工場で鉄骨がクレーンから落下して作業員2人にあたり、1人が死亡、1人がけがをした。

消防によると、工場で「鉄骨10本が落下し作業員2人が下敷きになった」と119番通報があった。

工場の敷地内で長さ約5メートルで40キロほどの鉄骨10本を束ねて、クレーンでつり上げている途中に、何かの原因で外れ、近くの作業員2人にあたったという。この事故で、50代の男性作業員が死亡し、30代の男性作業員が腕にけがをしたという。

警察などによりますと、当時、2人は鉄骨でできた重さおよそ1トンの建築部材をクレーンで引き上げるための作業をしていましたが、鉄骨をつなぐ部品が破損したため鉄骨が落下したとみられるということです。警察は業務上過失致死傷の疑いもあるとみて、詳しい事故の原因を調べています。

鉄パイプが落下

歩行者の頭に当たる

2018年5月14日 17:19

工事現場から鉄パイプが落下し、歩道を歩いていた男性に当たる事故があった。男性は軽傷だという。

警察によると14日正午前、工事現場の2階部分から長さ約3.5メートルの鉄パイプが落下し、歩道を歩いていた社員の男性(34)の頭に当たったという。現場ではビルに看板を設置する工事が行われていて警視庁の調べに対し、60代の作業員の男性は「2階に立てかけてあった鉄パイプが、いつの間にか落下した」などと話しているという。

警察は業務上過失致死傷の可能性もあるとみて事故の原因を調べている。